

○立命館大学スポーツ健康科学部学部則

2010年3月19日

規程第847号

(趣旨)

第1条 この学部則は、立命館大学学則（以下「学則」という。）第45条にもとづき、スポーツ健康科学部の授業科目、卒業に必要な単位数、単位認定その他の教育課程に関する事項について定める。

(英文表記)

第2条 スポーツ健康科学部の英文表記はCollege of Sport and Health Scienceとし、スポーツ健康科学部とスポーツ健康科学研究科を併せた総称をFaculty of Sport and Health Scienceとする。

(教育研究上の目的)

第3条 スポーツ健康科学部は、スポーツ健康科学の教育研究を通じて、グローバルな視野とリーダーシップを備え、スポーツ健康科学分野への理解を持ちつつ、社会の発展に貢献する人間を育成することを目的とする。

第4条 削除

(教育課程の編成)

第5条 スポーツ健康科学部の授業科目は、基礎科目、基礎専門科目および専門科目に区分し、これを4年間に配当して編成する。

- 2 基礎科目は、教養科目および外国語科目に区分する。
- 3 基礎専門科目は、リテラシー科目および基盤科目に区分する。
- 4 専門科目は、コース科目、共通科目、実習科目および小集団科目に区分する。
- 5 外国人留学生のために、日本語科目を設ける。
- 6 教育職員免許状の資格を得ようとする者のために、教職課程の授業科目を設ける。

(授業科目)

第6条 スポーツ健康科学部の授業科目の名称、単位数、授業方法、必修科目・選択科目・自由科目の別および配当年次は、次の各号に掲げる区分ごとに、当該各号の定める別表のとおりとする。

- (1) 基礎科目 別表1
- (2) 基礎専門科目 別表2
- (3) 専門科目 別表3

(4) 日本語科目 別表 5

2 教職課程の授業科目の名称、単位数、授業方法、修得方法および配当年次は、別表 4 のとおりとする。

3 第 1 項に定める授業科目のうち、多様なメディアを高度に利用して行う遠隔授業科目は、別表 6 のとおりとする。

(履修方法)

第 6 条の 2 専門科目のコース科目は、次の各号のいずれかのコースを選択のうえ、履修しなければならない。

- (1) スポーツ科学コース
- (2) 健康運動科学コース
- (3) スポーツ教育学コース
- (4) スポーツマネジメントコース

(履修の条件)

第 6 条の 3 「解剖・生理学実習」および「卒業論文」の履修条件は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 「解剖・生理学実習」を履修するためには、あらかじめ「パフォーマンス測定評価実習Ⅰ」および「パフォーマンス測定評価実習Ⅱ」の単位を修得しなければならない。
- (2) 「卒業論文」を履修するためには、あらかじめ「専門演習Ⅰ」または「専門演習Ⅱ」のいずれかの単位を修得しなければならない。

(卒業に必要な単位数)

第 7 条 スポーツ健康科学部における卒業に必要な単位数は、科目別表に定める必修科目・選択科目・自由科目の別を必修とする授業科目を含み、かつ、次項から第 6 項までに定めるところに従い修得する 124 単位以上とする。ただし、科目別表に定める必修科目・選択科目・自由科目の別を自由とする授業科目を含めることはできない。

2 基礎科目は、次の各号に定める単位数を修得し、かつ、28 単位以上を修得しなければならない。

- (1) 教養科目 科目別表に定める教養科目から 20 単位以上
- (2) 外国語科目 8 単位

3 基礎専門科目は、次の各号に定める単位数を修得し、かつ、32 単位以上を修得しなければならない。

- (1) リテラシー科目および「基礎数学」または「基礎理科」のいずれかを含む 6 単位以

上

(2) 基盤科目 22単位以上

4 専門科目は、次の各号に定める単位数を修得し、かつ、50単位以上を修得しなければならない。

(1) 選択したコースのコース科目 10単位以上

(2) 選択したコース以外のコース科目および共通科目 合計14単位以上

(3) 実習科目 コーチング実習A群から1単位以上およびB群から1単位以上ならびに身体科学実習から2単位以上

(4) 小集団科目 「専門演習Ⅰ」または「専門演習Ⅱ」のうちいずれか2単位以上

5 他学部の授業科目を履修し単位を修得したときは、これをスポーツ健康科学部の専門科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、14単位を超えて卒業に必要な単位とすることはできない。

6 「インターンシップ(国内)」、「インターンシップ(海外)」、「サービスマーケティング(専門)」、「クリニカルATインターンシップ(国内)」または「クリニカルATインターンシップ(海外)」については、8単位を超えて修得した単位については卒業に必要な単位とすることはできない。

(早期卒業)

第8条 学則第54条第2項にもとづき早期卒業を認める。

2 早期卒業を希望する者は、1年次の秋学期に、申請しなければならない。

3 前項の申請をした者は、1年次の終了時に次の各号に定める要件をすべて満たしていなければならない。ただし、年次を越えて留学を行っている場合は、留学終了後当該留学にかかる単位の修得が確定した時期にこの条件を適用する。

(1) 学位を得るために必要な単位のうち40単位以上を修得していること。

(2) 1年次の単年度GPAが3.8以上であること。

4 次の各号に定める者については第2項の申請を認めない。

(1) 休学期間がある者

(2) 除籍または退学後、再入学した者

(3) 他学部から転籍した者

5 第1項の申請を認められた者は、2年次の終了時に次の各号に定める要件をすべて満たしていなければならない。ただし、年次を越えて留学を行っている場合は、留学終了後当該留学にかかる単位の修得が確定した時期にこの条件を適用する。

- (1) 学位を得るために必要な単位のうち80単位以上を修得していること。
 - (2) 2年次の単年度GPAが3.9以上であること。
- 6 次条の定めにかかわらず、前項に定める要件を満たした者については、3年次において、1年間に50単位を上限として履修科目の登録を認める。この場合において、配当年次が4年次の授業科目の登録をすることができる。
- 7 早期卒業は、第3項および第5項の要件を満たし、かつ、3年次の終了時において次の各号に定める要件すべてを満たす学生について、面接および書類審査を行い、教授会の議を経て、学部長が決定する。
- (1) 第7条の要件を満たすこと。
 - (2) 学位を得るために必要な単位のGPAが4.0以上であること。
- 8 早期卒業をすることを決定した者が、本大学の規程に違反する行為、学生の本分に反する行為等早期卒業をすることを決定した者としてふさわしくない行為を在学中に行った場合には、教授会の議を経て、学部長が早期卒業の決定を取り消す。
- 9 早期卒業をすることを決定した者が早期卒業を辞退するときは、3年次の秋学期における卒業合否判定の結果発表日の前日までに、学部長に申し出なければならない。

(履修科目の登録の上限)

第9条 1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、次のとおりとする。ただし、休学、再入学等により登録することができる単位数の上限を変更する必要があると学部長が認めた者についてはこの限りでない。

- (1) 1年次春学期 22単位、1年次秋学期 22単位
 - (2) 2年次春学期 22単位、2年次秋学期 22単位
 - (3) 3年次春学期 22単位、3年次秋学期 22単位
 - (4) 4年次春学期 22単位、4年次秋学期 22単位
 - (5) 5年次以降春学期 22単位、秋学期 22単位
- 2 前項にかかわらず、留学、国内交流派遣等を許可された者については、指定された学期において30単位を上限として登録を認めることがある。
- 3 前2項にかかわらず、次の各号に定める科目については、前2項の単位数の上限を超えて登録をすることができる。
- (1) 学士の学位を得るための教育課程の授業科目のうち科目別表に定める必修科目・選択科目・自由科目の別を自由とする科目
 - (2) 教職課程科目

(3) 単位互換科目

(4) 次表の授業科目

基礎科目（教養科目）	平和人権フィールドスタディ
	Global Engineer Program
	University of Hawaii Program
	グローバル社会の体験と理解
	Intensive Language Workshop
	Language for Academic Communication
	Global Project-Based Learning
	Area Study I
	Area Study II
	Global Study
	Academic Communication (Online Learning)
	Area Study (Online Learning)
	コーオブ演習（理論）
	コーオブ演習（実践）
専門科目（共通科目）	インターンシップ（国内）
	インターンシップ（海外）
	クリニカルATインターンシップ（国内）
	クリニカルATインターンシップ（海外）
	インターンシップ（健康運動指導士）
	サービスラーニング（専門）

(5) スポーツ健康科学部教授会において承認された科目

4 前項にかかわらず、学士の学位を得るための教育課程の授業科目であって科目別表に定める必修科目・選択科目・自由科目の別を選択とするもののうち、教職課程科目を兼ねる授業科目は、第1項および第2項の単位数の上限に含むものとする。

（カリキュラム適用）

第10条 授業科目の種類および単位数、履修方法、卒業に必要な単位数ならびに単位認定等（以下「カリキュラム」という。）については、入学時に適用したカリキュラムを卒業まで適用する。

2 転入学にあつては転入学先、編入学にあつては編入学先、再入学にあつては再入学先の同じ回生に適用されるカリキュラムを適用する。

3 転籍にあつては転籍先の同じ回生に適用されるカリキュラムを適用する。

第11条 削除

(入学前の既修得単位の認定)

第11条の2 学則第39条にもとづき、入学後における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる単位は、入学する前に科目等履修生として本学部で履修した単位とする。

(教職課程)

第12条 スポーツ健康科学部において所要資格を得ることができる教育職員免許状の種類および教科は、次のとおりとする。

免許状の種類および教科	
中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
保健体育	保健体育

(教職課程の履修)

第13条 スポーツ健康科学部において教育職員免許状の所要資格を得ようとする者は、教育職員免許法に定める基礎資格を得るとともに、「教科及び教職に関する科目」として次の各号に掲げる授業科目について、当該各号に定めるところに従い、単位を修得しなければならない。

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

科目別表4(1)に定める授業科目から、中学校教諭一種免許状にあつては28単位以上を、高等学校教諭一種免許状にあつては24単位以上を、それぞれ選択して修得する。ただし、教科に関する専門的事項は、必修、選択科目併せて20単位以上を履修し、かつ、各教科の指導法の科目は、取得しようとする免許状の教科の種類に応じ、当該教科に係る授業科目を履修しなければならない。

(2) 教育の基礎的理解に関する科目

科目別表4(2)に定める授業科目から12単位以上修得する。

(3) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

科目別表4(3)に定める授業科目から、中学校教諭一種免許状にあつては12単位以上を、高等学校教諭一種免許状にあつては10単位以上を、それぞれ選択して修得する。

(4) 教育実践に関する科目

科目別表 4 (4)に定める授業科目から、中学校教諭一種免許状にあつては7単位以上を、高等学校教諭一種免許状にあつては5単位以上を、それぞれ選択して修得する。

(5) 大学が独自に設定する科目

科目別表 4 (5)に定める授業科目から、上記(1)から(4)までに定める最低修得単位数を超えて修得した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目の単位と併せて、中学校教諭一種免許状にあつては4単位以上を、高等学校教諭一種免許状にあつては8単位以上を、それぞれ選択して修得する。

(6) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

科目別表 4 (6)に定める授業科目を当該別表に定めるとおり修得しなければならない。

(改廃)

第14条 この学部則の改廃は、スポーツ健康科学部教授会の議を経て、大学協議会で行う。

附 則

この学部則は、2010年4月1日から施行する。

附 則 (2012年3月16日 カリキュラム改革および教学委員会の設置等に伴う一部改正)

- 1 この学部則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2012年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則 (2013年1月28日 改廃手続の変更および科目別表記載項目の追加等に伴う一部改正)

- 1 この学部則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2013年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。
ただし、改正後の第11条の2については、2012年4月1日以降の入学者についても適用する。
- 3 第1項にかかわらず、第10条は、2013年度に2回生以上に転入学、編入学または再入学する者、2014年度に3回生以上に転入学、編入学または再入学する者、2015年度に4回生以上に再入学する者、2016年度に5回生以上に再入学する者、2017年度に6回生以上に再入学する者、2018年度に7回生以上に再入学する者、2019年度に8回生に再入学する者については、なお従前の例による。
- 4 前項の従前の例による者のうち、復学により2013年度以降のカリキュラムを適用する者については、当該カリキュラムを卒業まで適用する。

附 則（2014年3月18日 カリキュラム改革等に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2014年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則（2014年3月18日 教科又は教職に関する科目の履修方法の変更に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2014年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（2015年1月27日 教育課程と履修方法の整理等に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2015年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2015年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（2015年4月21日 「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」の施行に伴う一部改正）

この学部則は、2015年4月21日から施行し、2015年4月1日から適用する。

附 則（2016年2月19日 教養科目の追加および削除、卒業要件の変更等に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2016年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。
- 3 前項にかかわらず、改正後の第6条科目別表1(1)ロB群（国際教養科目）のうち次表の授業科目の追加は、2010年4月1日以降に入学し、2016年3月31日に在籍する者に適用する。

科目名
Basic Academic Skills
Intermediate Academic Skills
Intermediate Seminar
Global Engineer Program
Hawaii University Program
Theme Study
Introduction to Law
Modern World History
Introduction to Politics
Japan and the West

Introduction to Economics
Kyoto and the Japanese Arts
Introduction to Sociology
Introduction to Geography
Special Lecture
Introduction to Linguistics
Introduction to Anthropology
Introduction to Natural Science
Peace Museum Seminar
Cross-cultural Encounters
Basic Communication Skills
Advanced Seminar

4 第2項にかかわらず、改正後の第6条科目別表3．専門科目(2)共通科目、第7条第3項および第9条第4号は、2014年4月1日以降に入学し、2016年3月31日に在籍する者に適用する。

附 則（2017年2月17日 教養科目の追加、自由科目の削除等に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2017年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。
- 3 前項にかかわらず、改正後の第6条 科目別表3．専門科目(2)共通科目の授業科目の追加、第7条第3項および第9条第1項第4号は、2014年4月1日以降に入学し、2017年3月31日に在籍する者に適用する。
- 4 前項の場合において、改正後第7条第3項に「「インターンシップ（国内）」、「インターンシップ（海外）」、「サービスマーケティング（専門）」、「クリニカルATインターンシップ（国内）」または「クリニカルATインターンシップ（海外）」については、」とあるのは「「インターンシップ（国内）」、「インターンシップ（海外）」、「サービスマーケティング（専門）」、「ATCクリニカルインターンシップ（国内）」、「ATCクリニカルインターンシップ（海外）」、「クリニカルATインターンシップ（国内）」または「クリニカルATインターンシップ（海外）」については、」と読み替えるものとする。

附 則（2018年2月16日 早期卒業制度の導入、履修科目の登録の上限の変更、教養科目の追加および削除等に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2018年4月1日から施行する。

- 2 前項にかかわらず、2018年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。
- 3 前項にかかわらず、改正後の第7条別表 教養科目 イ) A群科目 の「世界と日本の食文化」および教養科目 B群科目 国際教養科目のうち次表の授業科目の追加は、2017年4月1日以降に入学し、2018年3月31日に在籍する者に適用する。

科目名
Introduction to Humanities
Introduction to the United Nations
Introduction to Peace Studies
Introduction to Gender Studies
Introduction Course to Climate Change and Global Warming
Introductory Course to International Project Development
Understanding Visual Culture
Introduction to Food Culture
Cross Border Policy Issues

- 4 第2項にかかわらず、改正後の第7条別表 教養科目 イ) A群科目の下記科目は、2018年4月1日以降に入学し、2019年3月31日に在籍する者に適用する。

科目名
特殊講義（実践データ科学1）
特殊講義（実践データ科学2）

附 則（2019年1月11日 教育職員免許法および教育職員免許法施行規則の改正、小集団科目に関する卒業要件の変更等に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2019年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。
附 則（2020年1月31日 教養教育改革および全学海外留学プログラム改革に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2020年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。
附 則（2020年3月27日 学際総合科目の科目の追加に伴う一部改正）

- 1 この学部則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2020年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則(2022年2月18日 教養科目における遠隔授業の実施、海外留学科目の追加、教育職員免許法施行規則の改正および日本語科目の一部削除に伴う一部改正)

- 1 この学部則は、2022年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、2022年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。
- 3 前項にかかわらず、改正後の第6条別表6は2022年3月31日に在籍する者のうち、2022年度以降に受講する者に適用する。
- 4 第2項にかかわらず、2010年4月1日から2020年3月31日までに入学し、2022年3月31日に在籍する者のうち、2022年度以降に次表の授業科目を受講する者については、当該授業科目を多様なメディアを高度に利用して行う遠隔授業とする。

Theme Study
特殊講義（国の行政組織）

- 5 第2項にかかわらず、改正後の第6条別表1(1)の「Academic Communication（Online Learning）」および「Area Study（Online Learning）」の追加は、2020年4月1日以降の入学者から適用する。

別表1 基礎科目

(1) 教養科目

イ 立命館科目

科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
日本の近現代と立命館	2	講義	選択	1・2
ピア・サポート論	2	講義	選択	1・2
ジェンダーとダイバーシティ	2	講義	選択	1・2・3・4
メディアと現代文化	2	講義	選択	1・2・3・4
市民と政治	2	講義	選択	1・2・3・4
日本国憲法	2	講義	選択	1・2・3・4
災害と安全	2	講義	選択	1・2・3・4
歴史観の形成	2	講義	選択	1・2・3・4
科学・技術と社会	2	講義	選択	1・2・3・4
実践データ科学	2	講義	選択	1・2・3・4

現代平和論	2	講義	選択	1・2・3・4
戦争の歴史と思想	2	講義	選択	1・2・3・4
平和人権フィールドスタディ	2	演習	選択	2・3・4

ロ 教養基盤科目 (A群)

分野	科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
第1分野 思想と人間	哲学と人間	2	講義	選択	1・2・3・4
	人間性と倫理	2	講義	選択	1・2・3・4
	心理学入門	2	講義	選択	1・2・3・4
	論理と思考	2	講義	選択	1・2・3・4
	社会思想史	2	講義	選択	1・2・3・4
	科学技術と倫理	2	講義	選択	1・2・3・4
	宗教と社会	2	講義	選択	1・2・3・4
	メンタルヘルス	2	講義	選択	1・2・3・4
	(留) 日本の文化・地理・歴史	2	講義	選択	1・2・3・4
第2分野 現代と文化	メディアと図書館	2	講義	選択	1・2
	社会学入門	2	講義	選択	1・2・3・4
	文化人類学入門	2	講義	選択	1・2・3・4
	文学と社会	2	講義	選択	1・2・3・4
	現代の教育	2	講義	選択	1・2・3・4
	世界の言語と文化	2	講義	選択	1・2・3・4
	世界と日本の食文化	2	講義	選択	1・2・3・4
	観光学	2	講義	選択	1・2・3・4
	京都学	2	講義	選択	1・2・3・4
	(留) 日本語学	2	講義	選択	2・3・4
第3分野 芸術と創造	美と芸術の論理	2	講義	選択	1・2・3・4
	音楽原論	2	講義	選択	1・2・3・4
	映像と表現	2	講義	選択	1・2・3・4
	映像メディア実践入門	2	講義	選択	1・2・3・4

	文芸創作論	2	講義	選択	1・2・3・4
第4分野 社会・経済と統治	国の行政組織	2	講義	選択	1・2
	現代社会と法	2	講義	選択	1・2・3・4
	経済と社会	2	講義	選択	1・2・3・4
	企業と社会	2	講義	選択	1・2・3・4
	現代日本の政治	2	講義	選択	1・2・3・4
	現代の国際関係と日本	2	講義	選択	1・2・3・4
	現代の世界経済	2	講義	選択	1・2・3・4
	現代の経営	2	講義	選択	1・2・3・4
	社会と福祉	2	講義	選択	1・2・3・4
	ソーシャルデザイン論	2	講義	選択	1・2・3・4
	(留) 日本の社会・政治	2	講義	選択	1・2・3・4
	(留) 日本の経済・経営	2	講義	選択	1・2・3・4
	第5分野 世界の史的構成	エリアスタディ入門	2	講義	選択
新しい日本史像		2	講義	選択	1・2・3・4
中国の国家と社会		2	講義	選択	1・2・3・4
東アジアと朝鮮半島		2	講義	選択	1・2・3・4
ヨーロッパの歴史		2	講義	選択	1・2・3・4
アメリカの社会と文化		2	講義	選択	1・2・3・4
イスラーム世界の多様性		2	講義	選択	1・2・3・4
第6分野 自然・科学と人類	科学的な見方・考え方	2	講義	選択	1・2・3・4
	宇宙科学	2	講義	選択	1・2・3・4
	地球科学	2	講義	選択	1・2・3・4
	生命科学 (分子と生命)	2	講義	選択	1・2・3・4
	生命科学 (生物と生態系)	2	講義	選択	1・2・3・4
	材料と化学	2	講義	選択	1・2・3・4
	現代環境論	2	講義	選択	1・2・3・4
	科学と技術の歴史	2	講義	選択	1・2・3・4
	生命科学と倫理	2	講義	選択	1・2・3・4
	近現代の科学技術	2	講義	選択	1・2・3・4

	(留) 日本の自然・科学技術	2	講義	選択	1・2・3・4
第7分野 数理と情報	数理の世界	2	講義	選択	1・2・3・4
	情報の数理	2	講義	選択	1・2・3・4
	情報科学	2	講義	選択	1・2・3・4
	情報技術と社会	2	講義	選択	1・2・3・4

ハ 国際教養科目 (B群)

科目区分	科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
国際教養科目	Liberal Arts Seminar	2	演習	選択	1・2・3・4
	Introduction to Law	2	講義	選択	1・2・3・4
	Modern World History	2	講義	選択	1・2・3・4
	Japan and the West	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Economics	2	講義	選択	1・2・3・4
	Kyoto and the Japanese Arts	2	講義	選択	1・2・3・4
	Special Lecture	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Linguistics	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Anthropology	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Natural Science	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Humanities	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to the United Nations	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Peace Studies	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Gender Studies	2	講義	選択	1・2・3・4
Introduction to	2	講義	選択	1・2・3・4	

	Computational Linguistics				
	History of Computing	2	講義	選択	1・2・3・4
	Digital Archives: Applications of ICT to the Humanities	2	講義	選択	1・2・3・4
	Understanding Language	2	講義	選択	1・2・3・4
	Computers in Education	2	講義	選択	1・2・3・4
	Language in Politics	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introductory Course to Climate Change and Global Warming	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introductory Course to International Project Development	2	講義	選択	1・2・3・4
	Understanding Visual Culture	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Food Culture	2	講義	選択	1・2・3・4
	Cross Border Policy Issues	2	演習	選択	1・2・3・4
	Playing with Playfulness	2	講義	選択	1・2・3・4
	Introduction to Global Justice	2	講義	選択	1・2・3・4
	Sustainable Development Goals (SDGs) in a Nutshell	2	講義	選択	1・2・3・4
異文化交流科 目	Cross-cultural Encounters 1	2	演習	選択	1・2
	Cross-cultural Encounters 2	2	演習	選択	1・2・3・4
	Cross-cultural Studies	2	講義	選択	1・2・3・4

	Cross-cultural Seminar	2	演習	選択	1・2・3・4
	Non-verbal Communication	2	講義	選択	1・2・3・4
海外留学科目	Academic Skills 1	2	演習	選択	1・2・3・4
	Academic Skills 2	2	演習	選択	1・2・3・4
	外国留学科目	1～8	講義	選択	1・2・3・4
	外国留学特修科目	1～8	講義	選択	1・2・3・4
	Global Engineer Program	2	講義	選択	1・2・3
	University of Hawaii Program	2	講義	選択	2・3
	グローバル社会の体験と理解	2	実習・講義	選択	1・2・3・4
	Intensive Language Workshop	2	講義	選択	1・2・3・4
	Language for Academic Communication	2	講義	選択	1・2・3・4
	Global Project-Based Learning	2	講義・実習	選択	1・2・3・4
	Area Study I	2	講義	選択	1・2・3・4
	Area Study II	4	講義	選択	1・2・3・4
	Global Study	4	講義	選択	1・2・3・4
	Academic Communication (Online Learning)	2	講義	選択	1・2・3・4
	Area Study (Online Learning)	2	講義	選択	1・2・3・4

ニ 社会で学ぶ自己形成科目 (C群)

科目区分	科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
キャリア教育 科目	社会と学ぶ課題解決	2	演習	選択	1
	学びとキャリア	2	講義	選択	1・2

	仕事とキャリア	2	講義	選択	2・3・4
	コーオプ演習（理論）	2	講義	選択	2・3・4
	コーオプ演習（実践）	2	演習	選択	2・3・4
サービスラーニング科目	地域参加学習入門	2	講義	選択	1・2
	現代社会とボランティア	2	講義	選択	1・2
	現代社会のフィールドワーク	2	講義	選択	1・2・3・4
	シチズンシップ・スタディーズ	2	演習	選択	2・3・4

ホ スポーツ・健康科目（D群）

科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
スポーツの歴史と発展	2	講義	選択	1・2・3・4
スポーツと現代社会	2	講義	選択	1・2・3・4
スポーツ方法実習Ⅰ	1	実技	選択	1・2・3・4
スポーツ方法実習Ⅱ	1	実技	選択	1・2・3・4

ヘ 学際総合科目（E群）

科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
教養ゼミナール	2	演習	選択	1・2・3・4
異文化間テーマ演習	2	演習	選択	1・2・3・4
超領域リベラルアーツ	2	講義	選択	3・4
単位互換科目	1, 2又は4	講義	選択	1・2・3・4
APU交流科目	1, 2又は4	講義	選択	2・3・4
特殊講義（総合）	2	講義	選択	1・2・3・4

(2) 外国語科目

科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由	配当年次

			の別	
英語P1	1	講義	必修	1・2・3・4
英語P2	1	講義	必修	1・2・3・4
英語P3	1	講義	必修	2・3・4
英語P4	1	講義	必修	2・3・4
英語S1	1	講義	必修	1・2・3・4
英語S2	1	講義	必修	1・2・3・4
英語S3	1	講義	必修	2・3・4
英語S4	1	講義	必修	2・3・4

(3) 自由科目

科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
英語P0	1	講義	自由	1

別表2 基礎専門科目

(1) リテラシー科目

科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
日本語表現法	2	講義	必修	1・2・3・4
調査方法論	2	講義	選択	2・3・4
基礎数学	2	講義	選択	1・2・3・4
基礎理科	2	講義	選択	1・2・3・4

簿記入門	2	講義	選択	1・2・3・4
------	---	----	----	---------

(2) 基盤科目

科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
スポーツ健康科学	2	講義	必修	1・2・3・4
基礎機能解剖論	2	講義	必修	1・2・3・4
衛生学（公衆衛生含む）	2	講義	選択	2・3・4
基礎スポーツ医学Ⅰ（内科系）	2	講義	選択	1・2・3・4
基礎スポーツ医学Ⅱ（外科系）	2	講義	選択	2・3・4
基礎生理学	2	講義	選択	1・2・3・4
スポーツ栄養学	2	講義	選択	2・3・4
トレーニング科学	2	講義	選択	2・3・4
健康産業論	2	講義	選択	2・3・4
スポーツマネジメント論	2	講義	選択	2・3・4
コーチング論	2	講義	必修	2・3・4
学習科学論	2	講義	選択	1・2・3・4
生涯スポーツ論	2	講義	必修	1・2・3・4
スポーツ心理学	2	講義	選択	2・3・4
スポーツ統計学	2	講義	選択	2・3・4
マーケティング論	2	講義	選択	1・2・3・4
リーダーシップ論	2	講義	選択	2・3・4

基礎経営学	2	講義	選択	1・2・3・4
-------	---	----	----	---------

別表3 専門科目

(1) コース科目

区分	科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
スポーツ科学コース科目	エクササイズプログラミング論	2	講義	選択	3・4
	スポーツ医工学	2	講義	選択	3・4
	スポーツサイバネティクス論	2	講義	選択	3・4
	スポーツ生化学	2	講義	選択	3・4
	スポーツ生理学	2	講義	選択	3・4
	スポーツバイオメカニクス論	2	講義	選択	3・4
	スポーツ科学特殊講義	2	講義	選択	3・4
健康運動科学コース科目	運動処方論	2	講義	選択	3・4
	運動生理学	2	講義	選択	3・4
	健康施策論	2	講義	選択	3・4
	健康増進科学	2	講義	選択	3・4
	生活習慣病論	2	講義	選択	3・4
	健康運動指導論	2	講義	選択	3・4
	健康運動科学特殊講義	2	講義	選択	3・4
スポーツ教育学コース科目	学校保健学	2	講義	選択	3・4
	スポーツ教育学	2	講義	選択	3・4
	スポーツ指導論	2	講義	選択	3・4
	スポーツカウンセリング論	2	講義	選択	3・4
	スポーツ栄養教育学	2	講義	選択	3・4
	アダプテッドスポーツ論	2	講義	選択	3・4
	スポーツ教育学特殊講義	2	講義	選択	3・4
スポーツマネジ	サービスマネジメント論	2	講義	選択	3・4

メントコース科目	組織マネジメント論	2	講義	選択	3・4
	スポーツビジネス論	2	講義	選択	3・4
	スポーツマーケティング論	2	講義	選択	3・4
	スポーツメディア論	2	講義	選択	3・4
	スポーツ政策論	2	講義	選択	3・4
	スポーツマネジメント特殊講義	2	講義	選択	3・4

(2) 共通科目

区分	科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
特殊講義	スポーツ健康科学特殊講義Ⅰ	2	講義	選択	1・2・3・4
	スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ	2	講義	選択	2・3・4
キャリア形成科目	スポーツ健康科学セミナーⅠ	2	講義	選択	1・2・3・4
	スポーツ健康科学セミナーⅡ	2	講義	選択	2・3・4
	インターンシップ（国内）	2又は4	講義および実習	選択	2・3・4
	インターンシップ（海外）	2又は4	講義および実習	選択	2・3・4
	臨床的ATインターンシップ（国内）	2	講義および実習	選択	2・3・4
	臨床的ATインターンシップ（海外）	2	講義および実習	選択	2・3・4
	インターンシップ（健康運動指導士）	2	講義および実習	選択	3・4
	サービラーニング（専門）	2又は4	講義および実習	選択	2・3・4
外国語専門科目	専門英語（スポーツ健康科学）	2	講義	選択	3・4

	I)				
	専門英語（スポーツ健康科学	2	講義	選択	3・4
	II)				
展開科目	外国留学科目	1～8	講義	選択	1・2・3・4
	外国留学特修科目	1～8	講義	選択	1・2・3・4
	APU交流科目	2又は4	講義	選択	1・2・3・4

(3) 実習科目

区分		科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
コーチング実習	A群	スポーツ指導実習A（バスケットボール）	1	実習	選択	1・2・3・4
		スポーツ指導実習A（バレーボール）	1	実習	選択	1・2・3・4
		スポーツ指導実習A（サッカー）	1	実習	選択	1・2・3・4
	B群	スポーツ指導実習B（有酸素・レジスタンストレーニング）	1	実習	選択	2・3・4
		スポーツ指導実習B（水泳）	1	実習	選択	3・4
		スポーツ指導実習B（ダンス）	1	実習	選択	1・2・3・4
		スポーツ指導実習B（柔道）	1	実習	選択	2・3・4
		スポーツ指導実習B（アダプテッドスポーツ）	1	実習	選択	1・2・3・4
		スポーツ指導実習B（陸上競技）	1	実習	選択	2・3・4
		スポーツ指導実習B（器械体操）	1	実習	選択	2・3・4

身体科学実習	パフォーマンス測定評価実習 I	1	実習	選択	2・3・4
	パフォーマンス測定評価実習 II	1	実習	選択	2・3・4
	健康スポーツ指導実習	1	実習	選択	3・4
	解剖・生理学実習	1	実習	選択	3・4

(4) 小集団科目

科目名	単位数	授業方法	必修・選 択・自由の 別	配当年次
基礎演習 I	2	演習	選択	1
基礎演習 II	2	演習	選択	1
研究入門 I	2	演習	選択	2
研究入門 II	2	演習	選択	2
専門演習 I	2	演習	選択	3・4
専門演習 II	2	演習	選択	3・4
専門演習 III	2	演習	選択	4
専門演習 IV	2	演習	選択	4
卒業論文	4	演習	必修	4

別表4 教職課程の授業科目

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

① 中学校教諭一種免許状（保健体育）

各科目に含めること が必要な事項	科目名	単位数	授業方法	修得方法	配当年次
教科に関 する専門 的事項	体育実技 スポーツ指導実習A（バスケットボール）	1	実習	左記より 1単位以	1・2・3・ 4
	スポーツ指導実習A（バレーボール）	1	実習	上選択必 修	1・2・3・ 4
	スポーツ指導実習A（サッカー）	1	実習		1・2・3・ 4

	スポーツ指導実習B (有酸素・レジスタンストレーニング)	1	実習	選択	2・3・4
	スポーツ指導実習B (水泳)	1	実習	必修	3・4
	スポーツ指導実習B (ダンス)	1	実習	選択	1・2・3・4
	スポーツ指導実習B (柔道)	1	実習	選択	2・3・4
	スポーツ指導実習B (アダプテッドスポーツ)	1	実習	選択	1・2・3・4
	スポーツ指導実習B (陸上競技)	1	実習	必修	2・3・4
	スポーツ指導実習B (器械体操)	1	実習	必修	2・3・4
「体育原 理、体育心 理学、体育 経営管理 学、体育社 会学、体育 史」・運動 学(運動方 法学を含 む。)	スポーツマネジメント論	2	講義	選択	2・3・4
	生涯スポーツ論	2	講義	選択	1・2・3・4
	スポーツ心理学	2	講義	必修	2・3・4
	スポーツ教育学	2	講義	選択	3・4
	サービスマネジメント論	2	講義	選択	3・4
	組織マネジメント論	2	講義	選択	3・4
	基礎機能解剖論	2	講義	選択	1・2・3・4
	トレーニング科学	2	講義	選択	2・3・4
	スポーツバイオメカニクス論	2	講義	必修	3・4
	運動処方論	2	講義	選択	3・4
生理学(運 動生理学 を含む。)	運動生理学	2	講義	必修	3・4
	スポーツ生理学	2	講義	選択	3・4
衛生学・公	衛生学(公衆衛生含む。)	2	講義	必修	2・3・4

	衆衛生学					
	学校保健 (小児保 健、精神保 健、学校安 全及び救 急処置を 含む。)	基礎スポーツ医学Ⅱ(外科系)	2	講義	必修	2・3・4
		学校保健学	2	講義	必修	3・4
各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含 む。)		(教)保健体育科教育概論	2	講義	必修	2・3・4
		(教)保健体育科指導法Ⅰ	2	講義	必修	2・3・4
		(教)保健体育科指導法Ⅱ	2	講義	必修	3・4
		(教)保健体育科授業法	2	演習	必修	3・4
		(教)保健体育科授業発展演習	2	演習	選択	3・4

② 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

各科目に含めること が必要な事項	科目名	単位数	授業方法	修得方法	配当年次
教科に関 する専門 的事項	体育実技 スポーツ指導実習A(バスケットボール)	1	実習	左記より 1単位以	1・2・3・ 4
	スポーツ指導実習A(バレーボール)	1	実習	上選択必 修	1・2・3・ 4
	スポーツ指導実習A(サッカー)	1	実習		1・2・3・ 4
	スポーツ指導実習B(有酸素・レジスタンストレーニング)	1	実習	選択	2・3・4
	スポーツ指導実習B(水泳)	1	実習	必修	3・4
	スポーツ指導実習B(ダンス)	1	実習	選択	1・2・3・ 4
	スポーツ指導実習B(柔道)	1	実習	選択	2・3・4

	スポーツ指導実習B (アダプテッドスポーツ)	1	実習	選択	1・2・3・4
	スポーツ指導実習B (陸上競技)	1	実習	必修	2・3・4
	スポーツ指導実習B (器械体操)	1	実習	必修	2・3・4
「体育原理、体育心理学、体育経営管理、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	スポーツマネジメント論	2	講義	選択	2・3・4
	生涯スポーツ論	2	講義	選択	1・2・3・4
	スポーツ心理学	2	講義	必修	2・3・4
	スポーツ教育学	2	講義	選択	3・4
	サービスマネジメント論	2	講義	選択	3・4
	組織マネジメント論	2	講義	選択	3・4
	基礎機能解剖論	2	講義	選択	1・2・3・4
	トレーニング科学	2	講義	選択	2・3・4
	スポーツバイオメカニクス論	2	講義	必修	3・4
	運動処方論	2	講義	選択	3・4
生理学(運動生理学を含む。)	運動生理学	2	講義	必修	3・4
	スポーツ生理学	2	講義	選択	3・4
衛生学・公衆衛生学	衛生学(公衆衛生含む。)	2	講義	必修	2・3・4
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を	基礎スポーツ医学Ⅱ(外科系)	2	講義	必修	2・3・4
	学校保健学	2	講義	必修	3・4

	含む。)					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	(教) 保健体育科教育概論	2	講義	必修	2・3・4	
	(教) 保健体育科指導法Ⅰ	2	講義	選択	2・3・4	
	(教) 保健体育科指導法Ⅱ	2	講義	選択	3・4	
	(教) 保健体育科授業法	2	演習	必修	3・4	
	(教) 保健体育科授業発展演習	2	演習	選択	3・4	

(2) 教育の基礎的理解に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名	単位数	授業方法	修得方法	配当年次
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	(教) 教育原理	2	講義	必修	1・2・3・4
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	(教) 教職概論	2	講義	必修	1・2・3・4
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	(教) 教育社会学	2	講義	必修	1・2・3・4
	(教) 教育制度論	2	講義	選択	3・4
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	(教) 教育心理学	2	講義	必修	1・2・3・4
	(教) 児童・生徒理解の心理学	2	講義	選択	3・4
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	(教) 特別支援教育概論	2	講義	必修	1・2・3・4
教育課程の意義及び	(教) 教育課程論	2	講義	必修	2・3・4

編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)					
--------------------------	--	--	--	--	--

(3) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名	単位数	授業方法	修得方法	配当年次
道徳の理論及び指導法	(教) 道徳教育の理論と方法	2	講義	中学必修	2・3・4
	(教) 道徳授業発展演習	2	演習	中学選択	3・4
総合的な学習の時間の指導法	(教) 総合的な学習の時間の理論と方法	2	講義	必修	3・4
特別活動の指導法	(教) 特別活動の理論と方法	2	講義	必修	2・3・4
教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論および方法	(教) 教育方法論 (ICT活用を含む。)	2	講義	必修	2・3・4
生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(教) 生徒指導・進路指導の理論と方法	2	講義	必修	2・3・4
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	(教) 教育相談の理論と方法	2	講義	必修	2・3・4
	(教) 教育相談の実際	2	講義	選択	3・4

(4) 教育実践に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名	単位数	授業方法	修得方法	配当年次
教育実習	(教) 教育実習事前指導	1	講義	必修	3・4
	(教) 教育実習 I (事後指導を含む)	2	実験・実習	中学一種免4単位	4

	(教) 教育実習Ⅱ (事後指導を含む)	4	実験・実習	必修、高校一種免 2単位以上必修	4
教職実践演習	(教) 教職実践演習 (中・高)	2	演習	必修	4

(5) 大学が独自に設定する科目

各科目に含めることが必要な事項	科目名	単位数	授業方法	修得方法	配当年次
	(教) 学校教育総合演習	2	演習	必修	3・4
	(教) 介護等体験 (事前指導)	1	講義	中学選択	2・3・4
	(教) 介護等体験実習	1	実験・実習	中学選択	3・4
	(教) 学校インターンシップⅠ	2	実験・実習	選択	3・4
	(教) 学校インターンシップⅡ	3	実験・実習	選択	3・4
	(教) 学校インターンシップⅢ	4	実験・実習	選択	3・4
	(教) 道德教育の理論と方法	2	講義	高校選択	2・3・4
	(教) 道德授業発展演習	2	演習	高校選択	3・4
	(教) 国際理解教育論	2	講義	選択	3・4
	(教) 学校文化論	2	講義	選択	3・4
	(教) 人間と差別の教育論	2	講義	選択	3・4
	(教) 学級担任論	2	講義	選択	3・4
	リーダーシップ論	2	講義	選択	2・3・4
	学習科学論	2	講義	選択	1・2・3・4

(6) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

科目分野	科目名	単位数	授業方法	修得方法	配当年次
日本国憲法	日本国憲法	2	講義	必修	1・2・3・4

					4
体育	スポーツと現代社会	2	講義	左記より 2単位以	1・2・3・ 4
	スポーツ方法実習 I	1	実技	上選択必 修	1・2・3・ 4
	スポーツ方法実習 II	1	実技		1・2・3・ 4
	コーチング論	2	講義		2・3・4
外国語コミュニケー ション	英語P1	1	講義	左記より 2単位以	1・2・3・ 4
	英語P2	1	講義	上選択必 修	1・2・3・ 4
	英語P3	1	講義		2・3・4
	英語P4	1	講義		2・3・4
数理、デー タ活用及 び人工知 能に関す る科目又 は情報機 器の操作	数理、デー タ活用及 び人工知 能に関す る科目 情報機器 の操作	—	—	—	—
	調査方法論	2	講義	必修	2・3・4

別表5 日本語科目

科目名	単位数	授業方法	必修・選 択・自由の 別	配当年次
日本語Ⅷ (アカデミック日本語a)	1	演習	選択	2・3・4
日本語Ⅷ (アカデミック日本語b)	1	演習	選択	2・3・4
日本語Ⅷ (キャリア日本語a)	1	演習	選択	2・3・4
日本語Ⅷ (キャリア日本語b)	1	演習	選択	2・3・4
日本語Ⅶ (文章表現a)	1	演習	選択	1・2・3・4

日本語Ⅶ（文章表現b）	1	演習	選択	1・2・3・4
日本語Ⅶ（読解a）	1	演習	選択	1・2・3・4
日本語Ⅶ（読解b）	1	演習	選択	1・2・3・4
日本語Ⅶ（聴解口頭a）	1	演習	選択	1・2・3・4
日本語Ⅶ（聴解口頭b）	1	演習	選択	1・2・3・4

別表6 多様なメディアを高度に利用して行う遠隔授業科目

科目名	授業科目の区分
国の行政組織	教養基盤科目（A群）
メディアと図書館	教養基盤科目（A群）
ソーシャルデザイン論	教養基盤科目（A群）
Introduction to Food Culture	国際教養科目（B群）
Introduction to Computational Linguistics	国際教養科目（B群）
Liberal Arts Seminar	国際教養科目（B群）
Academic Communication（Online Learning）	国際教養科目（B群）
Area Study（Online Learning）	国際教養科目（B群）
超領域リベラルアーツ	学際総合科目（E群）